

竹林の風

教育事務所だより（66号） - 前進・信頼・誠実 -
県立学校における学校と地域の連携・協働活動特集

栃木県教育委員会事務局
河内教育事務所
令和5年1月16日
発行責任者 西村和孝
http://www.pref.tochigi.lg.jp/m51/
kawachi-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

第66号

河内地区ふれあい学習推進会議

河内地区ふれあい学習推進会議は、管内におけるふれあい学習^{※1}の推進を目的に協議する会議です。今年度は、5名の地域連携教員を河内地区ふれあい学習推進委員^{※2}に任命し、「学校と地域の連携・協働の推進（県立学校）」をテーマに協議しました。

ふれあい学習^{※1}

学校、家庭、地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育みながら、家庭と地域の教育力の向上を目指して行う、子ども同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との交流活動、体験活動、学習活動。

河内地区ふれあい学習推進委員^{※2}

○手塚 博子（宇都宮南高校）
○阿久津 晃一（宇都宮白楊高校）
○津田 理恵子（上三川高校）
○小川 友紀子（盲学校）
○高橋 寛乃（宇都宮青葉高等学園）
（敬称略）

1 各校の取組

各校とも、学校と地域の特色を生かした取組を実践するとともに、地域への貢献活動を行っていることが分かりました。各推進委員は、現状に満足することなく、より効果の高い学校と地域の連携・協働活動に取り組んでいます。自校の活動に活かせる取組のヒントを得ようと、他校の取組に熱心に耳を傾けるとともに、積極的に質問するなどして、情報の共有に努めました。

【各校の学校と地域の特色を活かした主な取組】

宇都宮南高校

・社会教育施設を活用して、生徒の学びや成果を発表

宇都宮白楊高校

・栽培した農作物を用いて、小学校で食育活動を実施
・地域の生産者との連携により、専門的な学びを実現

上三川高校

・社会福祉協議会との連携により、福祉に関する多様な活動を実施

盲学校

・地域住民等を対象として、ボランティア養成講座を実施
・企業との連携により、マッサージ会を実施

宇都宮青葉高等学園

・作業実習で作った物品を販売



2 課題を解決するための工夫

情報交換で共有された課題を解決するため、協議を行いました。特に、新型コロナウイルス感染症の影響で活動が縮小される中、活動実施に向けた感染症対策についての協議が活発に行われました。また、継続的な連携が期待される企業や行政機関との連携なども議題に挙がりました。

【主な課題と具体的な方策】

感染症対策

・マニュアルを作成して対応

校内体制

・日常会話の話題にする
・担当が記録を蓄積

振り返り

・全校生徒に発表
・進路に関連づけ

情報発信

・生徒自身がHPに掲載

今年度のふれあい学習推進会議は、より充実した学校と地域の連携・協働活動の実施に向け、建設的な協議が行われるとともに、推進委員間のネットワークが構築され、管内の県立学校における学校と地域の連携推進に資する会議となりました。

河内地区地域連携教員研修（県立学校）兼ふれあい学習ネットワーク

10月25日（火）に、河内教育事務所としては初めての試みとなる、県立学校の地域連携教員を対象とした標記研修を実施しました。栃木県総合教育センター生涯学習部長 井上 昌幸 氏を講師にお招きし、「学校と地域の特色を生かした学校と地域の連携・協働活動のススメ」と題してお話いただきました。



1 【地域との連携・協働が必要なワケ】

子どもや学校を巡る様々な変化

・少子高齢化
・新型コロナウイルス感染症の蔓延
・問題行動の発生
・特別な配慮を必要とする児童生徒の増加

社会を生き抜くための力の育成

・多様な人々との関わり
・様々な経験等
が必要

学校だけでは身に付かない

2 【地域と連携する目的】

積み重ねが必要

小学生

・地域を知る
・地域の人との関わり方を学ぶ

中学生

・地域の中の自分の役割を学ぶ
・地域の役に立つ 等

高校生

・学んだ成果を生かす
・地域課題解決に取り組む
・キャリア教育 等

3 【地域との連携・協働で期待される効果】

①子どもたちにとって
・「生きる力」の育成
・地域への愛着の芽生え
・学力向上の基盤づくり
・社会性が育まれる

③学校にとって
・教育課題が解決
・地域との信頼関係が構築
・地域との協働につながる

②教職員にとって
・地域への理解が深まる
・授業の内容が充実

④地域や保護者にとって
・生涯学習が充実
・地域コミュニティが活性化
・地域の教育力が向上

4 【事例：県内の工業高校における特色を生かした連携・協働活動】

・公民館のPR動画作成
・ゴミステーション製作
・災害ボランティア参加

・地域の人に褒められる
・地域について知る機会

・生徒の自己有用感が向上
（地域住民が褒めると効果は10倍!）
・生徒の地域への愛着が芽生えた



5 【地域とともにある学校】

地域とつながる中で子どもを育てるために
学校と地域で共有された目的・目標

協働

・みんなと一緒に汗をかく取組
・多様な関係者が参画する取組
・地域の方々と巻き込んだ取組

参加者は、連携・協働活動の意義や効果の高さを改めて確認するとともに、同じ校種の地域連携教員と積極的に意見交換を行うなど、自校での活動を充実させようと、熱意あふれる姿勢で研修に取り組んでいました。また、これからの学校と地域の連携・協働の姿として、子どもも大人も育ち合う教育の重要性を再認識する機会となりました。

ふれあい学習の推進に向けて

河内教育事務所ふれあい学習課では、社会全体で子どもたちを育てる取組を進めています。学校と地域の連携・協働や家庭や地域の教育力の向上について、相談やお困りの時は遠慮なく、ふれあい学習課に御連絡ください。【ふれあい学習課 ☎028-626-3183】

・より効果的な学校と地域の連携・協働活動のための具体策等について一緒に考えます
・学校と地域の連携・協働に関する職員研修をお手伝いします